

# アクアオート(自動水栓)施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容によって正しく取付けてください。

## 安全のために必ずお守りください

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお取付けください。  
この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

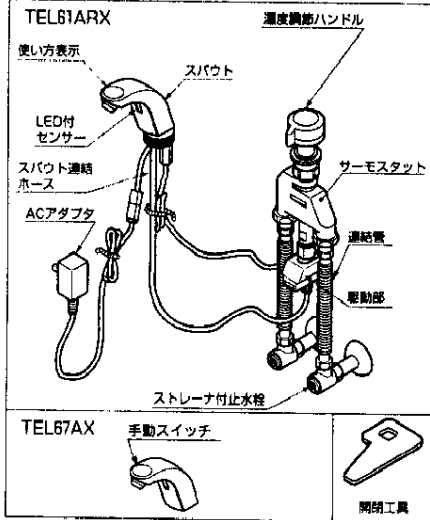
| 表示        | 意味   |
|-----------|--|
| <b>警告</b> | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| <b>注意</b> | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。  
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

|  |
|--|
| <b>警告</b>  |
| 水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームでは設置、使用しないでください。<br>(故障、感電の原因になります。) |
| <b>注意</b>  |
| 湯水を逆に配管しないでください。<br>水を出そうとしても、湯が出てやけどすることがあります。                              |

## 仕様

### 手元温調ハンドルタイプ



|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 電源       | AC100V 50/60Hz                      |
| 消費電力     | 常時2W(作動時4W)                         |
| 電源コード    | 1.9m                                |
| 給水圧力     | 最低必要水圧 (流動時) 0.05MPa<br>最高水圧 0.6MPa |
| 給水部接続    | 15A                                 |
| 周囲使用温度範囲 | 0℃~55℃                              |
| 周囲使用湿度範囲 | 90%RH以下                             |
| 感知距離     | 自動設定(学習機能内蔵)                        |

## 使用条件

1. 使用水圧  
給水・給湯圧力  
最低必要圧力……0.05MPa  
最高圧力……0.6MPa  
給水圧力は給湯圧力より必ず高くするが、同圧になるようにしてください。  
給水圧力が0.6MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
2. 給湯温度は、60℃以上でご使用ください。ただし、約50℃以上の湯は出ないようにしています。
3. 給湯に蒸気を使用しないでください。
4. 湯・水を逆配管しないでください。  
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするための最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

## 取付け前に

1. 電気製品ですので駆動部に水をかけないようご注意ください。また、浴室内では使用しないでください。
2. 電源は AC100V(50/60Hz)、最高消費電力は4Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、コンセントは本体の取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。

3. 給水圧力範囲は、0.05~0.6MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
4. センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
5. スパウトを陶器に固定した後、電源を入れてください。電源を入れてから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますので、その間は、センサーに手をかざしたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなどしておいてください。

## 給水取出し位置一覧表

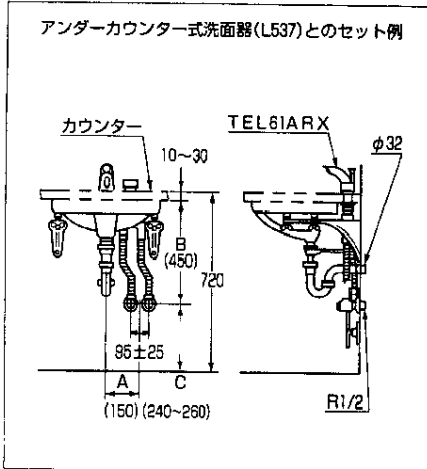
(注)陶器の品番より取付寸法が異なります。詳細は、次表を参考の上取付けてください。

| 陶器品番           | 寸法  |      |                      |
|----------------|-----|------|----------------------|
|                | A   | B    | C                    |
| L517           | 170 | 470  | 250<br>(280)         |
| L525FA<br>L537 | 150 | ※450 | 240~260<br>(270~290) |
| L546<br>L548   | 170 | ※    | ※                    |
| L581BA         | 150 | ※500 | 190~210<br>(220~240) |
| L582BA         | 170 | ※    | ※                    |

※印はカウンター下面からの寸法でカウンターの厚さは10mm~30mmです。( )寸法は、カウンター高さが750mmの場合です。

## 完成図(例)

### L537+TEL61ARXの場合



## 取付完了後の確認

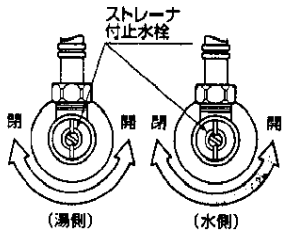
取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 設置後、AC100VタイプはACアダプタをコンセントへ差込んでください。(この時止水栓は閉めておいてください。)
2. スパウト部のLED付センサーを見て、LEDが点滅していないことを確認ください。もしも点滅しない場合はスパウトの向きを少しかえて、点滅しないところで再固定してください。(この間、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。)

3. 手洗器・洗面器の種類によっては、LED付センサーのLED点滅が消えないことがありますが、その場合は、そのまま設置します。(約10分後にLED点滅は消え、その後は正常に作動します。)  
なお、10分以内に作業が終らない場合は、以上の操作(1~3)をやりなおしてください。
4. 止水栓を開いて給水してください。
5. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。  
(センサー感知は、学習方式のため、手を動かさないと約15秒で止水します。)
6. 約1分間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい場合は、一度手を離し、再度手を近づけてください。
7. 洗面器に水溜めする場合は、センサー前面約5cmの位置に手をかざしたままにしますと、その間約1分間連続吐水します。
8. スイッチを押すと水が出ます。もう一度押すと止水します。  
但し、1分間連続して水が出ていると自動的に止水します。  
(手動スイッチ付のみ)

## 吐水量の調節

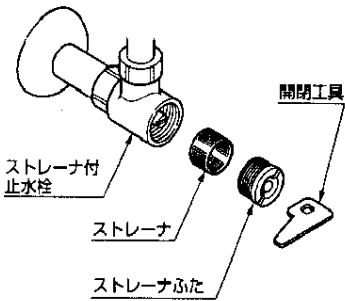
駆動部内部には、定流量弁(5L/min)を内蔵しており基本的に調節は不要ですが、手洗器等でボールが小さい場合や吐水の勢が強すぎて衣服の袖等をぬらす恐れがある場合は、付属の開閉工具でストレーナ付止水栓を回して吐水を絞って調節してください。



## ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

- ストレーナを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、ストレーナふたを外してください。



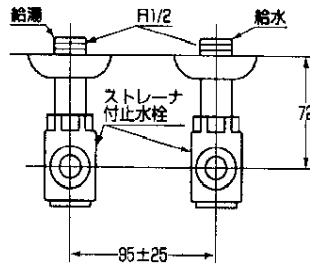
## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は、「取扱説明書」をご覧ください。

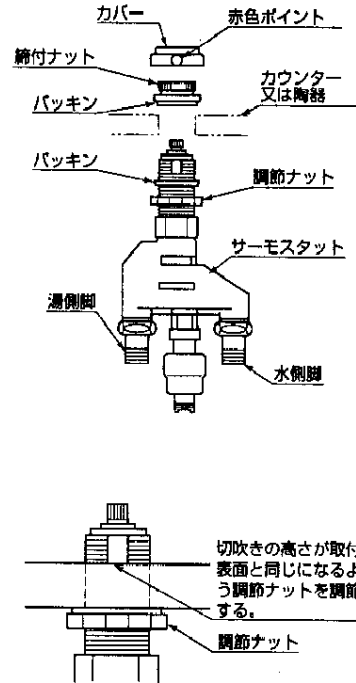
## 施工手順

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

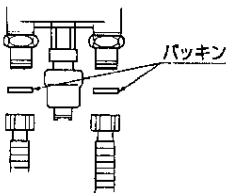
- 1 器具への給水の取だし位置を確認してください。  
(注)給水取だし位置一覧表の項を確認してください。
- 2 ストレーナ付止水栓を取付けます。



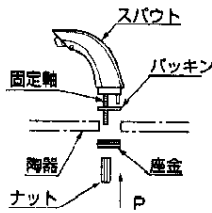
- 3 サーモスタットの調節ナットをカウンター又は陶器の厚さに合わせて調節し、水側脚が正面向かって右側に、湯側脚が左側になるよう締付ナットで固定します。カバーは赤色ポイントが正面になるよう取付けます。



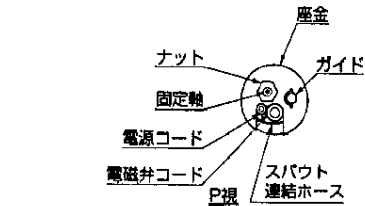
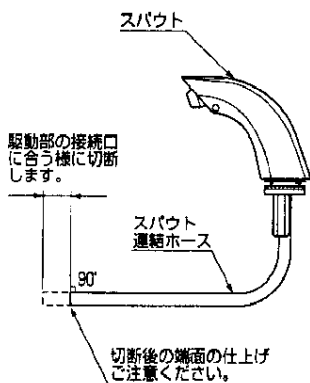
- 4 ストレーナ付止水栓、サーモスタット、間の連結管(短: 2本)を接続します。  
(注)パッキンを必ず取付けてください。



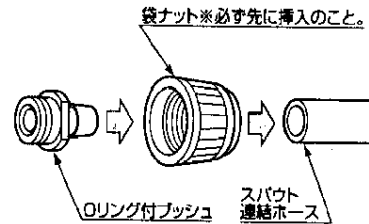
- 6 スパウト部取付下部から、座金をスパウト連結ホースと電源コード、電磁弁コードのかみ込みに注意して取付けます。座金をとめるナットは、スパウトがゆるまないよう、確実に締付けてください。  
(注)スパウトを固定する際は、必ず陶器のボール面中心に向けてください。



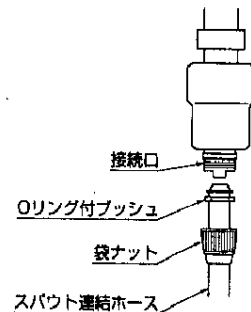
- 5 スパウトを洗面器に仮固定し、スパウト連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さに切断します。このときカッター等を用い、切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。



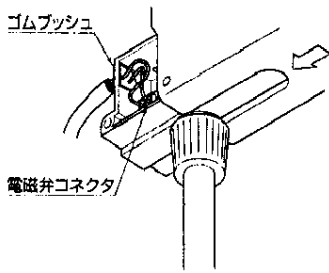
- 7 スパウト連結ホースに端面から、袋ナットを通した後、リング付プッシュを差込みます。



- 8 リング付プッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締付けます。リング付プッシュが、確実に差込まれているか確認し、締付けは手締めにて行ってください。

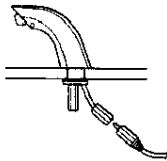


- 9 電磁弁コネクタを接続し、ゴムブッシュを取付けます。電磁弁コネクタが確実に接続されているか確認し、駆動部カバーをロックがかかるまで差込みます。



※電磁弁コネクタが接続しにくい場合は、クイックファスターをはずし、駆動部をはずして接続してください。

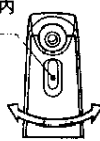
- 10 ACアダプタを接続してください。



- 11 スパウトを陶器に本固定します。  
(注)スパウトを固定する際は、必ず陶器のボール中心に向けてください。

- 12 AGアダプタをコンセントに差込みます。  
●電源を入れてから約10分間は、感知しても点灯しますが、故障ではありません。(約10分後、LEDの点滅は消え、その後は正常に作動します。)

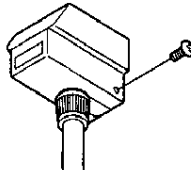
センサー内LED



※電源を入れてから、約20秒間は、陶器内に物を入れないでください。  
※陶器によって点滅が消えない場合がありますが故障ではありません。  
(点滅が消えない場合はスパウトの向きを少しずらして点滅が消えたところで固定してください。)

- 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)

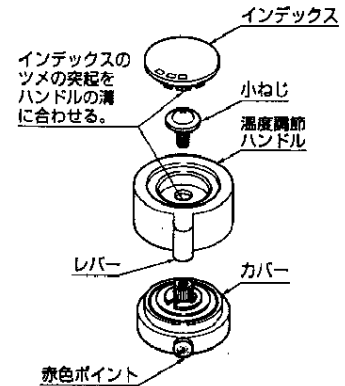
- 13 盗難等の恐れのある場合は駆動部カバーを付属のビスにて固定してください。



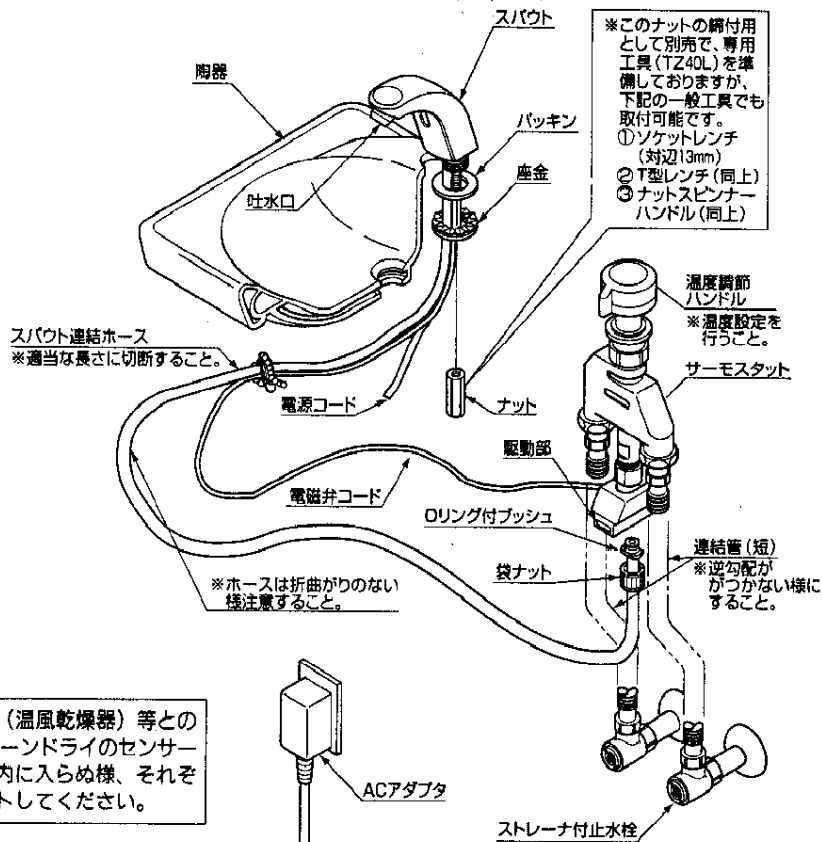
- 14 温度設定を行い温度調節ハンドルを取付けます。なお、設定する前に次のことを確かめてください。  
●止水栓が全開になっていること。  
●ストレーナのごみづまりがないこと。  
●十分な温度(60℃以上)のお湯がきていること。

〈設定要領〉

- ①スパウトより吐水させて温度調節ハンドルの目盛に関係なく38℃の湯が出るまで温度調節ハンドルを回します。
- ②その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜きとります。
- ③ハンドルのレバーと赤色ポイントを合わせてはめ込みます。
- ④温度調節ハンドルを小ねじで固定したのちインデックスをはめ込みます。



- 15 取付完了後の確認、吐水量の調節の項をご参照のうえ、確認、調節してください。



(注)クリーンドライ(温風乾燥器)等とのセットでは、クリーンドライのセンサービームが洗面器内に入らぬ様、それぞれを離してセットしてください。